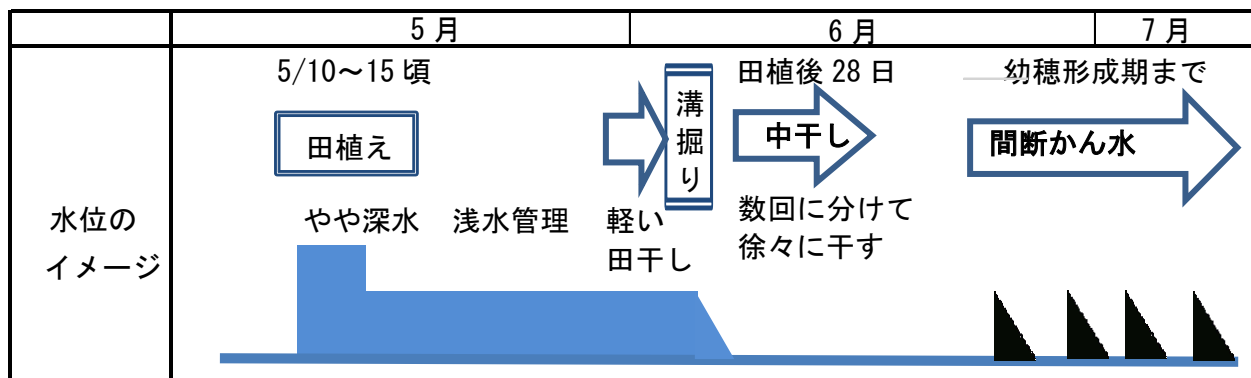


田植後4週間(28日)までの中干しを確実に開始しましょう！

<水管理のイメージ(中生)>



溝掘りと中干しの意義・効果

・中干しの前に溝掘りを確実にいきましょう。

<溝掘り>

- ①入排水を素早く行えるようにする
- ②停滞水をなくし、水田全体で均一な水管理が容易になる

<中干し>

- ① 過剰な分けつ発生を抑える
- ② ワキ(有害ガスの発生)を抑え、発根を促す
- ③ 田面を硬くし、出穂後20日間の湛水管理に備える

溝掘り

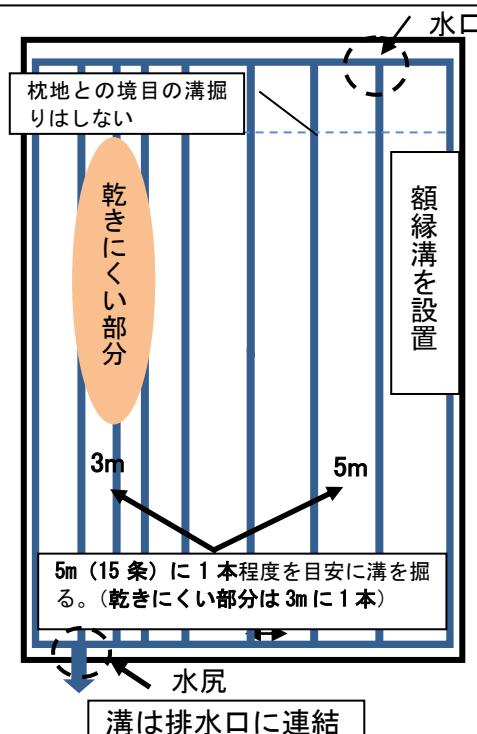
- ・軽く田干しを行い、泥を固くしてから溝を掘る。
- ・ほ場周辺に額縁排水溝と5m(15条)に1本を目安に溝を掘り、排水溝口に連結する。

営農記録ノートを活用しましょう

○溝掘り・中干しの基本技術については、「営農記録ノート」6月 P30を確認し、作業を行ってください。

○農作業を行ったら、P31の「農作業のあしあと」にしっかりと記録しておきましょう。

水が流れるように溝の連結部をつなぐ

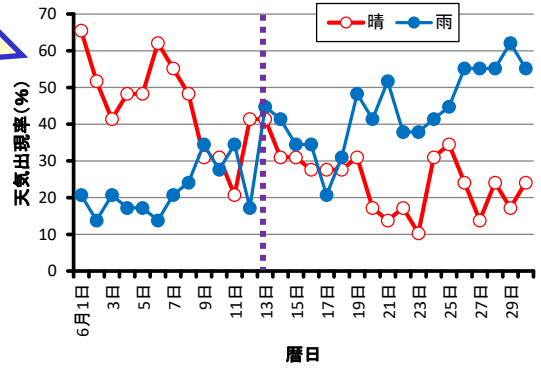


中干し

**実施時期：田植後4週間(28日)までに遅れず実施！
(茎数が目標値より少ない場合でも発根を促すため実施してください)**

※収穫作業時にほ場を硬くするには、本格的な梅雨に入る前に中干しを実施することが必要です。

6月13日頃から晴天日が減少し、降雨日が多くなります。



富山の6月の日別天気出現率(富山地方気象台)
注) 統計期間1991年～2020年

中干しの程度

- ・田面に小さいひびが入る程度を目安とし、過ぎないよう数回に分けて徐々に干しあげる。
- ・茎数が多くなりやすいほ場や乾きにくいほ場では、やや強めに干す。

中間追肥

- ・カリ入りの土づくり肥料を施用しなかった場合は、中干し後の入水時に『エスアイ加里らくだ』(15kg/10a)または、『エスアイ加里カリ投げくん』(小袋20個/10a)を施用する。
※カリ投げくんは5cm以上湛水し、畦畔沿いに均等に施用し、5日程度湛水を保つ。

カメムシが増殖しにくい環境づくり

- ・カメムシを増やさないためには、餌となる雑草の穂が出ないようにこまめに除草することが大切です。
※7月上旬までカメムシの発生量を抑えることが斑点米の発生防止には重要です。

直播(鉄コーティング)管理情報(溝掘り・中干し)

溝掘りと中干し ～ポイントは移植に準じます～

- ・6月上旬頃に、溝掘りを行う。
- ・直播は移植に比べて分けつの発生が早いので、遅れず中干しを開始する。
- ・中干し開始の目安は、茎数が㎡当たり300本(1m当たり100本程度)となった頃です。

葉いもち予防

- ・直播は苗箱施薬による防除を実施していないので、**6月中旬に必ず予防粒剤を散布する。**

薬剤名	適用病害名	使用量	注意
オリゼメート1キログラム粒剤	いもち病・白葉枯病	1kg/10a	湛水状態で散布し、散布後7日間は落水しない

○直播の栽培ごよみ「営農記録ノート」P12～13を参考にしてください。

○ご不明な点はJA高岡 担当営農指導員 または 高岡農林振興センター 高岡班(26-8477)までお尋ねください。